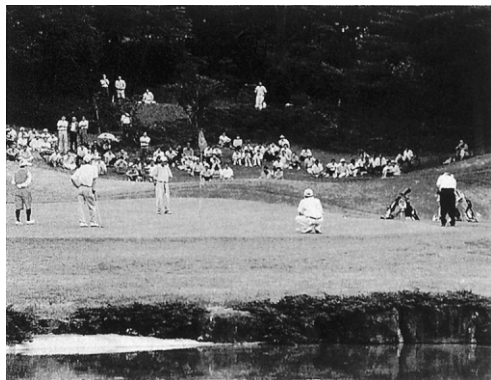


第17回大会

平成8年8月20～21日／ニューワールドGC／男子36校 女子13校出場



杜の都・仙台での初開催となった大会は、下馬評では、ノーマークだった沖学園（福岡）が逃げ切り、初優勝を飾った。2日間を通じて、出場選手全員が70台で回る抜群の安定感で、2位との差を5打に広げての快勝となった。10年連続の出場ながら、過去の最高成績は、2年前の5位。九州の地区予選でも柳川（福岡）がトップで予選を通過しており、戦前の予想では、候補にすら名前が挙がっていなかった。この予想を大きく覆したのが、恵まれた練習環境。校内には10打席の打撃練習場に加え、屋内練習場も完備。プロのトーナメントには、キャディとして参加し、トップレベルの選手の技を盗むことも忘れない。こうした練習環境の整備が、初優勝につながったといえよう。全国屈指の練習施設を有し、1年生を主体としたチームは今後の活躍が期待される。また、2位にも柳川が入り、男女とも九州勢の大活躍した大会となった。

また、女子は、熊本中央女子（熊本）が、1・2年生主体のチームながら、初日2位の苦境を逆転し、2連覇を達成した。初日を終わって、上位4校が2打差にひしめく、大混戦。最終日は、上位4校が同組でラウンドする直接対決となった。この中で、力を見せたのが、初日を体調不良で欠場した熊本中央の勇（2年）。練習ラウンドも欠場する不利のものともせずエースの実力を見せ、見事な逆転勝利を決めた。

◇男子成績

①沖学園（福岡）601 (304、297)			
松方 美憲③	145 (74、71)		
清田 太郎①	147 (74、73)		
横山 清人①	155 (77、78)		
木村 光一朗①	155 (79、76)		
今村 大志郎③	156 (79、77)		
②柳川（福岡）606 (305、301)			
野田 賢蔵③	147 (73、74)		
木村 佳昭②	151 (73、78)		
中原 鉄平③	151 (78、73)		
山田 章平③	157 (81、76)		
福井 賢太郎③	160 (81、79)		
③佐野日大（栃木）606 (309、297)			
久保 超路③	150 (77、73)		
尚 朝則②	150 (79、71)		
田中 大介②	153 (74、79)		
壺谷 紀之③	155 (79、76)		
金子 朋弘③	160 (83、77)		
④水城（茨城）	606	⑳香川西（香川）	651
⑤明德義塾（高知）	607	㉑向 上（神奈川）	656
⑥中京商（岐阜）	616	㉒横 浜（神奈川）	656
⑦東京学館浦安（千葉）	618	㉓日体荏原（東京）	656
⑧瀬戸内（広島）	619	㉔日大高（神奈川）	660
⑨大阪桐蔭（大阪）	627	㉕札幌光星（北海道）	664
⑩埼玉栄（埼玉）	628	㉖土浦日大（茨城）	665
⑪埼玉玉（埼玉）	628	㉗名古屋学院（愛知）	666
⑫仙台育英（宮城）	636	㉘恵庭南（北海道）	674
⑬長崎日大（長崎）	638	㉙西武台（埼玉）	680
⑭広 陵（広島）	638	㉚星 陵（静岡）	680
⑮堀 越（東京）	638	㉛札幌商（北海道）	680
⑯P L学園（大阪）	643	㉜西武台千葉（千葉）	687
⑰大体大浪商（大阪）	644	㉝目 黒（東京）	701
⑱愛 知（愛知）	645	㉞福 島（福島）	749
⑲東 北（宮城）	647	㉟愛工大名電（愛知）	780
㉚綾 羽（滋賀）	647		

◇女子成績

①熊本中央女子（熊本）460 (236、224)			
大久保 麻衣③	154 (75、79)		
丸尾 由紀①	154 (81、73)		
吉崎 千晃①	157 (80、77)		
新崎 弥生①	- (83、-)		
勇 知江②	- (-、74)		
②堀 越（東京）462 (234、228)			
小林 英恵②	154 (78、76)		
塩田 亜飛美②	157 (78、79)		
土肥 友子①	157 (78、79)		
中島 佳乃③	161 (88、73)		
③大体大浪商（大阪）465 (236、229)			
石川 沙織①	153 (77、76)		
田中 瑞代②	153 (78、75)		
藤田 綾③	159 (81、78)		
里井 明日香③	169 (86、83)		
④埼玉栄（埼玉）	465	⑨明德義塾（高知）	498
⑤中京商（岐阜）	471	⑩東京学館浦安（千葉）	514
⑥武蔵野（東京）	471	⑪北海道工業（北海道）	522
⑦津島女子（愛知）	486	⑫東 北（宮城）	540
⑧仙台育英（宮城）	493	⑬三田尻女子（山口）	656